

2011年日本平和大会実行委員会ニュースno.3

2011年日本平和大会実行委員会 東京都港区芝1-4-9 日本平和委員会気付
TEL 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277 E-mail: info@j-peace.org 9月12日

秋田 実行委結成 すでに2人決定の労組も

秋田県では7日、平和委員会や秋田大学労組、中通病院労組、日赤病院労組など6労組・団体の代表が集まり実行委員会が結成されました。

実行委員会ではよびかけ団体の県平和委員会を代表して風間県平和委員会理事長があいさつ。国民の声を無視して普天間基地・原発存続・消費税・TPPをゴリ押しする野田新政権の危険な役割にふれ、とりわけ“もう基地はいらない”と県民ぐるみでたたかっている沖縄での平和大会を成功させようと述べ、秋田県から10人以上の参加をよびかけました。

これを受けて協議に入り、まず、実行委員会には中央実行委員会に対応する28労組・団体に参加を呼びかけることを確認し、参加目標は10人（97年以降、沖縄大会では最高）以上（中通病院労組はすでに2人決定）としました。そして、そのために学習パンフ400部の普及と学習運動（必要に応じ講師を派遣する）、チラシ1000枚増刷などを確認しました。更に、これを具体化するため地域・職場を回ることにし、2人1組で14～16日に秋田市内で取り組みます。県内各地区はその後に行うことにしました。

討論では、「毎年同じ人が行くよりも若い新しい人を参加させることが大事。その点では労組ががんばらないと」「参加した人が職場・地域で活動できるよう支援するなど次の担い手づくりの観点が大事」「参加者の事前学習が大切」などの意見が出されました。

山口 実行委結成 岩国かかえ沖縄連帯重要

山口県でも7日、安保破棄実行委、原水協、県労連、新婦人、平和委員会など6団体が集まり、実行委員会が結成されました。

岩国基地問題について二井山口知事は、愛宕山開発跡地の国・防衛省への売却問題では、年度内に県住宅供給公社を廃止するため年内に態度を決めるとし「国に売却するには、市が艦載機移転など再編を容認する必要がある」という姿勢ですが、「普天間基地問題の見通しが立たないうちに艦載機部隊の岩国基地への移駐を先行させることは認められない」としています。

討論では、沖縄との連帯が岩国基地問題でも重要となっていること、そして厚木から艦載機移転やKC130の鹿屋移転、艦載機離発着訓練の馬毛島移転問題など神奈川や鹿児島島の運動との連帯も一層重要になっていることを確認し、20人の参加を最低目標とすることとしました。すでに民医連2人、県商連1人、平和委3人の参加が決まっています。

兵庫 実行委結成 YS61演習の危険訴えつつ

兵庫県では5日、安保破棄実行委、原水協、兵商連、平和委員会が出席して実行委員会が結成されました。兵庫県では、来年1月30日から2月5日まで、陸自中部方面総監部のある伊丹駐屯地で陸の日米共同図上演習・ヤマサクラ61が予定されています。そのシナリオがしんぶん赤旗8/30付けでスクープされました。このシナリオからは、中国脅威論が米軍の戦略に生きていること、米軍の能力を高める演習であること、しかし荒唐無稽な日本有事を想定しなければならないところに憲法が力を発揮していること、などの特徴が浮かび上がっているとの指摘もあります。実行委員会では、10月16日に伊丹駐屯地の公開があり、基地調査や学習会を行いつつ大会への参加を呼びかけようと話し合いました。参加目標は07年の倍近い30人。すでに10人ほど確定しており、引き続き呼びかけをすすめていきます。